

年	組	名前
---	---	----

バス運行中を想定

大分交通が
避難訓練
乗客を高台に誘導

大分交通（大分市）は22日、バスの運行中に巨大地震が発生し、津波が襲ってくるとの想定で、乗客を高台に誘導する避難訓練を同日、バス神崎で行った。午後3時に大きな地震が発生し、50分以内に大分、別府両市の沿岸に最大5メートルの津波が到達するとの想定で実施。国道10号を走る上下線のバス2台が大分市の「田の浦」バス停で緊急停車。乗客役の社員計約30人が降り、先導役の案内で高台の神崎小学校まで避難した。



高齢者役の男性を背負い高台の神崎小学校に向けて移動する避難訓練の参加者。22日、大分市神崎

高齡者役を務めた男性運転手(51)は「お年寄りにはきつい移動だと感じた。手を取ったり、おぶったりと周りの協力が大切になる」と話した。

大分交通が4市1町で走らせるほとんどのバス便は沿海部がコースに入る。市町の指定避難場所などの情報をまとめたマニュアルやマップを作り、バスに常備する予定。

訓練終了後、林征志乗合課長は「本社と連絡が取れなくなる事態も予想される。乗客の安全を考え、乗務員の判断でいち早く避難してほしい」と呼び掛けた。

大分交通は、バスの運行中に巨大地震が発生し、津波が襲ってくるとの想定で、避難訓練をしました。

(2013年4月23日朝刊19面)

①津波の危険がある場合、まずしなければならないことは何ですか。

.....
.....
.....
.....

③ほかに外出先で地震に遭った際、場面ごとに、気を付けるべきことを話し合ってみよう。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

②バスにはさまざまな人たちが乗っています。こういった対応が必要となりますか。

.....
.....
.....
.....